

平成30年度
企画政策部 組織目標設定シート

今年度の目標設定			
A 組織の方針(使命)	B 重点目標項目	C 設定理由・考え方	D 活動(手段)
組織の基本方針又は使命 組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に 国内では、高齢社会と「人口減少が急速に進行しており、各自治体がその課題克服に向けた取組みが求められる中において、各部政策推進室との政策調整を行い各部局が一体となった統一的な意思形成を図るとともに、総合政策機能を活かしたまちづくりを進める。 市民の意見や提言を市政に反映し、市政に対する市民満足度を向上できるよう広報・広聴機能の充実に努める。	組織の課題のうち今年度取り組むものを優先順に 1. 第4次京田辺市総合計画の策定 2. 自転車を活用した地域づくり推進事業 3. まちづくりプラン(重点プロジェクト)、地方創生総合戦略の推進 4. 北陸新幹線PR事業の推進 5. 市政情報の積極的な発信	どのようなニーズに基づくのか どのような成果を目指すのか ・現行「まちづくりプラン」の計画期間がH31年度までとなっていることから、京田辺市総合計画条例に基づき、第4次京田辺市総合計画(基本構想、まちづくりプラン)を策定する。 ・ツアーオブ・ジャパンの開催や自転車を楽しめる取組を推進するとともに、開催地としての愛着や誇り、新たな自転車の聖地「京田辺市」を目指すことを目的とする。 ・「まちづくりプラン(重点プロジェクト)」及び「まち・ひと・しごと総合戦略」に基づく諸施策を推進し、今後予想される人口減少と少子高齢化に対応する。 ・北陸新幹線の早期建設を実現し、開業効果を發揮させるため、PR活動を通じ、機運醸成や政府への要望活動を通して、国の鉄道整備関係予算の確保を促す。 ・広報等を通じ、市の施策について積極的に提供することで、市の将来展望を市民と共有していく。 ・まちの魅力を発信することで、市民のまちへの愛着やまちづくりへの意識、市民としての誇りと一体感を向上させる。	重点目標項目を実現するため行う活動や手段 ・H30年度は、市民等へのアンケート調査、現行計画の総括及び総合計画審議会等の開催により、基本構想の検討を行う。 ・関係機関、地元と協議調整を行い、レース実施に向けた体制準備を整える。 ・ホームチームと連携した自転車教室等を開催する。 ・サイクリングマップのリニューアルを行い、PR活動を行う。 ・国の地方創生関連の交付金の活用や重点事業の進行管理により、諸施策を推進する。 ・今後設立予定の建設促進同盟会を通じて、政府への要望活動や決起大会など建設促進に係る活動を開催する。 ・京都府立田辺高等学校と連携し、同校鉄道研究部が実施する北陸新幹線をモチーフにした「ミニ鉄道運行」を活用し、機運醸成を図るためのPR活動を実施する。 ・広報紙等の発行 ・SNSの活用(Twitter、Facebook)によりリアルタイムに情報を発信する。 ・記者会及び他のメディアへの情報提供を行う。 ・主要施策・事業の成果の取りまとめ及び情報発信を行う。